

(1)

公益財団法人 藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター



第209号



2018年(平成30年)1月発行(季刊)
(公財)藤沢市まちづくり協会
シルバー人材センター・生きがい就労センター
藤沢市鶴沼神明1丁目3番18号
藤沢市生きがい福祉センター内
電話 0466(27)1100

もやいとは、人と人をつなぐこと(共働・共助)

曙光

恩田 平八郎 (写真同好会)



新年のご挨拶

理事長 遠藤 主計



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、さわやかな気持ちで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて昨年は、年頭早々、アメリカ大統領に就任したトランプ氏の「米国第一」を掲げた経済政策の転換や、隣国での韓国における政権交代などが起こり、重ねて北朝鮮の相次ぐミサイル発射や核実験の強行など、我が国にとって緊張が走る出来事が立て続けに発生しました。

国内においても、これら情勢の変化を受け、外交や経済への不安感が高まりましたが、企業活動の持ち直しが続き、企業の人手不足を背景に雇用者数の増加、個人消費の緩やかな回復傾向が続いています。

このような社会情勢や少子高齢化が急速に進む中、私たちが景気回復の恩恵を将来にわたって享受するためには、高齢者が地域社会で活躍し、将来を担う子どもたちや子育て世代を支える仕組みを確立することが重要なポイントであり、シルバー人材センターはこのような社会的使命の一翼を担って活動していると自負するものであります。

今年の干支は「戊戌」で、真に必要なものを見極めることで新たなチャンスを得る、取捨選択の年であるといわれています。

本協会においても、長年にわたり様々な業務を行ってまいりますが、これまでの業績や手法に固執せず、客観的な検証・選別により新たなビジネス環境を構築し、大きく飛躍する年にしたいと考えています。

シルバー人材事業においても、社会のニーズを的確に捉えながら就業機会の拡大に努めるとともに、顧客である市民や企業への丁寧な対応に心掛け、これまで以上に信用と信頼をいただけるよう地道に取り組んでまいり所存でありますので、会員の皆様にも更なるご理解と協力を賜りますようお願いいたします。

2018年が昨年引き続き爽りのある年であるとともに、皆様方のご健勝と更なる活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

「みんなの海をきれいにしよう」
ビーチクリーンを実施しました

昨年の10月28日、片瀬西浜海岸において、シルバー人材センターのビーチクリーンを実施しました。全国シルバー人材センター事業協会では、毎年10月をシルバー人材センター事業普及啓発促進月間と定めています。このため10月は全国各市等のシルバー人材センターで、加入促進、就業拡大の活動展開、ボランティア活動（清掃活動等）、各種イベントへの参加等の事業が実施されました。

本センターでも、シルバー事業の普及啓発活動と会員の社会参加推進事業を兼ねてビーチクリーンのボランティア活動を実施しました。当日の朝は、11月中旬の冷え込みで、しかも台風22号の影響で雨が大変心配されましたが、心配をよそに無事実施することができました。参加して下さった方は、一般参加者をはじめ会員、協会の役員等多くの方々により実施されました。また今回（公益財団法人）かながわ海岸美化財団にもビーチクリーンに協力していただきました。



かながわ海岸美化財団は、横須賀市走水海岸から湯河原町湯河原海岸まで150kmの自然海岸の一体的な清掃のほか、ごみの持ち帰り運動やビーチクリーンアップの開催等による美化啓発、海岸清掃ボランティアへの支援を行う日本でも唯一の海岸美化を目的として設立された公益財団法人です。今回の実施にあたり、美化財団より、ごみ袋や軍手、ビーチクリーンの注意事項や可燃・不燃ごみの収集分別の資料提供等の協力をしていただきました。参加者の方々には海岸のごみの知識を広めていただくと同時にビーチクリーンの認識を新たにさせていただく良い機会になりました。

（公財）藤沢市まちづくり協会遠藤主計理事長の開催の挨拶の後、参加者の皆さんは班ごとに分かれ、お互いの親睦と交流を図りながら、和やかに行われました。

海岸のごみの7割は「川」からの通り道です。今年は雨が多く、台風の影響により、多くのごみが砂浜に打ち上げられました。流木等の大きなごみは、ビーチクリーナーにより除去されますが、細かいごみは人の手によって収集されています。

参加された皆さんは、細かい、いろいろなごみを丁寧に拾い集めて、可燃・不燃ごみ袋に分別収集されていました。収集されたごみは、それぞれ集積場所に集められ、1時間ほどでビーチクリーンは無事所期の目的を達成し、終了することができました。

シルバー人材センターでは、健康で働く意欲のある60歳以上の方に、さまざまな就業の機会を提供しています。今回は、シルバー人材センター事業普及啓発促進のため、会員と市民が共同で行う海岸清掃ボランティア活動（ビーチクリーン）を実施したのですが、このほかにも、シルバー事業を紹介するDVDの団体貸出しやホームページでシルバーに関するご紹介もしております。

最近、少子高齢化により様々な人手不足が深刻となり、現場からの依頼が多くなり、高齢者の出番が期待されていきます。この期待にこたえるために、多くの会員の確保と就業開拓・発展に向け、今後とも一層の努力をしてまいります。



農作業体験を行いました

「さつまいぶ掘り」

昨年の10月5日に、生きがい就

労センターの障がい者部門の会員の皆さんの農作業体験が行われました。善行で農業を営まれている農家の方のご厚意により、今年もさつまいぶ掘りの農作業体験をさせて頂き、自然とのふれあいを楽しみました。普段会員の皆さんは、室内での作業のため、この体験実習を通じて、農業への理解と就業の大切さを経験してもらうことがこの実習の目的でもあります。

当日は、この秋一番の冷え込みでしたが、日中は薄日が差す陽気となり、芋掘りに恵まれた実習日和となりました。

今年は雨や台風が多かったので、さつまいぶの出来具合が心配されましたが、よく育った立派な形のさつまいぶが次々に掘り出され、皆さん喜びの歓声を上げていました。5月に芋の苗が植えられ、大切に育てられたこのさつまいぶは、「べにあずま」という種類で、とても美味しかったよ！と話してくれました。美味しいお弁当を食

べ、沢山のさつまいぶのお土産を頂き、大満足で貴重な社会体験実習をすることが出来ました。



シルバー人材センターが提供する業務

～適正就業の推進について～

シルバー人材センターが会員の皆様に提供する適正な就業の基準は、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」第 41 及び第 42 条に規定する「臨時的かつ短期的なもの」及び「その他の軽易な業務」となります。

このことは会員の皆様に地域の日常生活に密着した仕事を提供し、もって高年齢者の就業機会の増大を図り、活力ある地域社会づくりに寄与し、高年齢者が仕事を通じて社会参加することによって心身ともに健康の維持を目的としています。

今後はより多くの会員の皆様にできる限り公平に仕事を分かち合っていただくために就業の仕組みの見直しを段階的に行っていきたいと思っております。

なお、先般厚生労働省から法令に基づく「適正就業ガイドライン」があらためて示されましたので会員の皆様にお知らせいたします。

シルバー人材センターの適正就業ガイドライン（抜粋）

臨時的かつ短期的または軽易な業務について

- ・ シルバー人材センターが会員に提供する業務は、臨時的かつ短期的または軽易な業務です。このため、派遣と職業紹介に該当する場合を除き、それ以外の業務を会員に提供することはできません。
- ・ シルバー人材センターが会員に提供する業務が、臨時的かつ短期的または軽易な業務となるため、会員の就業は、現役世代の労働者などが 1 人で行う業務を、複数の会員が時間や日にちで分担して行う方法（ローテーション就業）が基本となります。
- ・ 会員への就業機会の提供は、上記の基本に基づき、特定の会員に集中させずに、公平にできる限り多くの会員に提供するようにしてください。

臨時的かつ短期的または軽易な業務の日数、時間の上限について

臨時的・短期的な業務	おおむね月 10 日程度以内
軽易な業務	おおむね週 20 時間を超えないことを目安

* 上記の日数、時間の上限は、おおむねの目安のため、会員は一時的に上記の上限を超えて就業することができますが、恒常的に上記の上限を超えて就業することはできません。

認められる場合の例

スーパーマーケットでの品出しなど、派遣で働く会員（週の所定労働時間 18 時間）が、特売日やイベントが多い特定の月に、上限（週 20 時間）を超えて就業する場合

認められない場合の例

庭木の剪定など、請負で働く会員が、恒常的に上限（月 10 日）を超えて就業する場合

会員の活動紹介

史跡歩き同好会

豪徳寺

上田 晴重

室町時代、文明二二年（一四八〇年）に世田谷城主の吉良政忠が伯母「弘徳院久栄理大姉」のために建てたので、彼女の法名から「弘徳院」と呼ばれていた寺の前を江戸の頃、ある侍が馬にまたがり山門まで来ると、一匹の猫が「オイデ オイデ」と手招きをした。不思議に思い、寺の中に入ると、突然大雨が降り出し門に雷が落ちた。猫に命を助けられた侍は、井伊直孝であった。

直孝の死後「久昌院殿豪徳天英大居士」の法名から豪徳寺と命名されたそうです。

広い境内の中ほどに招き猫の納め所があり、大小、沢山の招き猫が奉納されています。

奥には、江戸桜田門外で暗殺された幕末の大老・井伊直弼の墓もあります。

史跡歩き同好会 募集と連絡先
電話 84-9028 上田晴重

写真同好会

表紙は語る

曙光

恩田 平八郎

正月三日早朝、真鶴半島三ツ石海岸に日の出の撮影に行った際の写真です。この日は水平線近くに多少雲がりましたが、撮影には支障なく良い写真が撮れました。

三ツ石は、真鶴半島の先端に位置する岩礁で、真鶴のシンボルと言われています。

真鶴半島は、神奈川県相模湾に突き出た小さな半島。一三万〜二三年前に箱根火山のマグマ支脈として海底から噴出した溶岩ドームからできた地形といわれ、その頑丈な岩礁は生き物の宝庫です。

写真同好会 募集と連絡先
電話 33-2865 鈴木昭まで

川柳・五行歌通信

若林 琢磨

明けましておめでとうございませす。新年早々「川柳」のお話しをしましょう。

うがちハッ!!とさせるオドロキ
軽み「たしかに」と頷く
滑稽こっけい笑わらい（苦笑を含み）

この三要素を頭の隅に置き、詠んで（作句）みましょう。しかし、これにこだわることはありません。まずは自由奔放に詠んでみましょう。

詠んだらその句を表おもてに出しましょう。（投句と言います。）ハガキに何句か書いて、センターにお送り下さい。

私と森本先生が、直す箇所があるか見まして、次号の『もやい』に載せます。雅号がごう（ペンネーム）

川柳同好会

句題 『日の出』 新年を祝う

選者

森本 生雄 43-10023
若林 琢磨 81-11407

女房と日の出を拝む新の顔《いきお》初詣サイ銭箱にウス目開け《ユウスケ》
日の出とき年賀取り出す幸の数《イキオ》賑わいの神も華やか三ヶ日《たくま》
じいちゃんの頭毎朝初日の出《ゆうすけ》息災を二拍二礼の五円玉 《タクマ》

五行歌

昼近いけど
元旦は
起こさぬ
若夫婦の
部屋

生雄

オトソ飲み
おせち食べ
家内安全を願
神社へ
心清らかに
もも子

（皆様からの旅行記等記事を募集中です!!）

でも結構です。

今年も素敵な句や歌をお届けします。ご愛詠下さい。

なお、当同好会にご参加のかたは、左記の森本、若林までご連絡ください。

確定申告を忘れずに!

配分金収入がある会員の方は、金額にもよりますが、確定申告が必要になりますので、左記の期間中に必ず手続きを行って下さい。

期間 平成30年2月16日から3月15日まで

ただし、2月18日（日）と2月25日（日）も行っています。

詳細については、藤沢税務署にご確認、ご相談下さい。なお、会員の方にお支払いした配分金額（配分金総額票）を1月中旬に郵送する予定です。